

地域をつなぐ

民生委員・児童委員

民生委員制度は100年続く歴史ある制度で、全国に約23万人の民生委員・児童委員が活動しています。新潟県の民生委員・児童委員は3,502人です。(令和7年4月1日現在 定数。政令市である新潟市を除く)

すべての民生委員・児童委員がそれぞれの地域の民生委員児童委員協議会(民児協)に属し、多くの仲間とともに協力しながら活動します。月に1回の定例会は、行政機関や社会福祉協議会などの情報共有のほか、委員同士の活動内容の共有、課題の整理、研修の場でもあります。活動の問題や悩みを話し合い、また、仲間づくりにもつながっています。



竹田 一夫

(上越市民児協連/2期目)

青少年健全育成に関わっていた事もあり「地域の力になれば」と承諾しました。就任時はコロナ禍であり、リモート研修が主でしたが、定例会でお聞きする確かな体験談を手本に取り組むことができました。

5類移行後、学校や地域から行事の案内をいただく機会が増えてきました。いきいきと活動する子どもや優しく見守る地域住民の姿に接しながらモチベーションを生み出しています。

向き不向きより
前向きに!



小倉 良平

(南魚沼市民児協/2期目)

前職で福祉の仕事をする機会があり、その時に地域の身近な相談相手として生き活きと活動するみなさんの真摯な姿と人柄に触れ、自分も退職後はぜひ民生委員・児童委員の仲間入りをしたいというのがきっかけでした。

今、2期目に入り、日々の活動の中で学ぶことや得ることも多く、いろいろな方とのふれあいを楽しみながら、地域の潤滑油になるように活動しています。

「情けは人のためならず」
ですね!



木村 喜智子

(村上市民児協/1期目)

地区民児協の活動する姿を見て、迷うことなく委員を引き受けました。一人で抱え込まず、困ったことがあったら委員や関係機関に相談します。「見て聴いて、つないで、見守る」を念頭に活動しています。

皆さんからいただく感謝の言葉を「活動のチカラ」にして、地域の方のしあわせを願い、共に歩んでいきたいと思っています。

いつもありがとう
~お互い様です~



斎藤 ひろ子

(阿賀町民児協/2期目)

前任のベテラン委員が引退するにあたり、後任として依頼を受けた時に、あまり深く考えずに引き受けてしまいました。前任者が引き継ぎ時のあいさつに私を同行させてくれたおかげで、スムーズに活動を始めることができました。今では「あなたと話す元気があるよ」「頼りにしているよ」と言われ、地域の役に立つ喜びを感じています。

仲間との情報交換も定期的に行い、より良い活動を目指しています。

明るく。元気に。
こんにちは



酒井 みよ

(五泉市民児協/1期目)

担当地域は二つの町内会です。住んでいる町内会のお茶の間サロンのお手伝いがきっかけで民生委員・児童委員を引き受けることになりました。もう一つの町内会は知り合いも少なく不安でしたが、前任者のみなさんの協力で、こちらのお茶の間サロンにも参加させていただき、知り合いが増え、話題が多くなりました。

個人、家族等の多様化した実情に合わせて、地域の皆さんと協力して活動していきたいです。

和顔愛語
見守りたい



大平 尚美

(出雲崎町民児協/1期目)

在職中は仕事一筋で世情に疎く、社会貢献度ゼロでした。主任児童委員を依頼されても「こんな人間が?」と申し訳なさが先に立ち、不安を抱いたままお引き受けしました。

今では先輩委員の皆さんに教わりながら、研修や様々な訪問活動を行うことで、少しずつ町の取り組みや人々のことを知るようになり、視野を広げる好機をいただいたと思っています。

安心安全な生活をめざして
軽やかに
タイムリーに

(民生委員・児童委員歴は令和7年4月1日現在です)